

別 紙

企画県土警察常任委員会資料

(平成23年1月21日)

- 4 鳥取環境大学の改革に関する説明会(パブリックヒアリング)及び県民アンケートの実施状況について

【新生公立大学設立準備室】

企 画 部

鳥取環境大学の改革に関する説明会（パブリックヒアリング）及び県民アンケートの実施状況について

平成23年1月21日
新生公立大学設立準備室

新生公立鳥取環境大学設立協議会では、公立化に向けた鳥取環境大学の総合的な改革案を県民の皆様へ情報提供するとともに御意見を伺う説明会（パブリックヒアリング）及びアンケートを行いました。その結果について報告します。

1 鳥取環境大学の改革に関する説明会（パブリックヒアリング）の開催状況

【概要】

◆東部

①日 時 9日（日）13:30～15:20

②場 所 とりぎん文化会館第1会議室

③参加状況 約60人

④主な意見

- ・公立化は他大学の例などを参考にもう少し経営努力をしてからでもよいのではないかと。
- ・公立化は大賛成だが、公立化に方針転換した過程を教えて欲しい。
- ・これまで、経営状況の公開が十分でなく、大学の状況が県民、市民にはわからなかった。
- ・私学の雄から大学経営のわかる人と呼んではどうか。
- ・定員充足率100%、志願者倍率2倍という経営試算の前提条件が達成可能な方策を示して欲しい。
- ・環境大学出身者が中学、高校で教員をすることは、学生の増につながる。
- ・サークル活動など大学の賑わいも受験生にとっては魅力となる。
- ・平成24年4月に公立化しなければならない積極的な理由は何か。
- ・情報や状況が伝わるようPR活動に力を入れるべき。
- ・地域連携の具体的方法、手法を示して欲しい。
- ・経営学部が設置されることとなれば、鳥取環境大学という名前がふさわしいのか。

◆中部

①日 時 10日（月、祝）10:00～11:20

②場 所 中部総合事務所講堂

③参加状況 約20人

④主な意見

- ・社会に必要とされる人材の育成に重点を置くための教員集め、教員育成の仕組みも検討すべき。
- ・保護者の立場からすると就職支援に力を入れてもらいたい。
- ・教員、学生に女性が増えた場合に託児などの仕組みも考えて欲しい。
- ・中、西部の県民にとっては県外の大学と同じ。自信と誇りを持った学生を送り出して欲しい。
- ・農業経営など鳥取県の良さを活かす学問を検討して欲しい。
- ・鳥取の人間らしくない営業力を持った人間育成を行って欲しい。
- ・他県にも大学の名前を出す努力が必要

◆西部

①日 時 10日（月、祝）14:30～15:30

②場 所 西部総合事務所第13会議室

③参加状況 約40人

④主な意見

- ・受験生（保護者）の立場からすると早く正式に発表をして欲しい。
- ・専門学科（商業科など）の高校生を生かす入試、入学後の学力向上等について検討して欲しい。
- ・これまで多くの子ども達が県外に進学していたが、自宅から通える場所に経営学部ができれば、教育費負担の軽減につながる。北東アジア交流、人間形成にも力を入れて欲しい。

- ・山陰両県における就職口を開拓して欲しい。
- ・地域との連携強化は良いこと。フィールドワークの体験が若者の力を引き出すきっかけとなる。
- ・西部地域からも通学が可能となる方法や、アパート代、特急定期の補助なども考えられないか。
- ・改革案は地元の人間には魅力的だと思う。県外の方にもメッセージを発信した方がよい。
- ・環境大学出身者が中学、高校で教員をすることは、大学にとってもプラスになる。
- ・西部地区での環境大学の認知度は低い。中学の理科の授業を環境大学が支援してもよいのでは。
- ・子ども達、小・中・高の教員との連携を強化すべき。
- ・大学のやっていることが伝わるよう、情報発信力を強化すべき。
- ・公立大学となるのであれば、地元高校出身者への何らかの配慮が考えられないか。

2 鳥取環境大学の改革に関するアンケート調査結果

【概要】

◆実施時期 平成22年12月28日～平成23年1月14日

◆配布、回答数

区分	回答数	配布数	回答率
高校2年生	1,409	1,705	82.6%
保護者	746	1,705	43.8%
高校教員	1,258	1,479	85.1%
県内企業	240	620	38.7%
一般県民	777	—	—
合計	4,430	5,509	—

◆主な結果

○問7 総合的な改革案全体について

- 概ねこの方向でよい 55.8%
- 公立大学化するために更に対策を加えるべき 24.7%
- この改革案では不十分であり、抜本的に改革をやり直すべき 9.1%

○問8 身近な受験生に進学を勧めるか（進学先の候補の一つとなるか）

- 高校生：候補の一つになる（大いに考える、考える） 35.9%
- 候補として考えない 18.9%
- （※参考 平成22年8月実施アンケート結果 候補となる4.9% 候補とならない45.1%）
- 保護者：候補の一つになる（大いに勧める、勧める） 38.6%
- 候補として勧めない 12.5%
- （※参考 平成22年8月実施アンケート結果 勧める 23.5% 勧めない 46.1%）

○問9 受験生に勧めたい大学とするために、更にどのような点を強化すべきか（上位項目）

- ・就職の支援 18.5%
- ・魅力ある授業、先生 11.3%
- ・資格の取得 11.2%
- ・大学の知名度 9.2%
- ・実践的な技術の習得 7.2%

○問10 国の財政支援を踏まえた大学運営について

- 公立大学として運営すべき 80.6%
- 国の財政支援の額にこだわらず、積極的な運営をすべき 26.7%
- 国の財政支援を多少超えてでも、魅力的な運営をすべき 18.1%
- 国の財政支援と同額までで、魅力的な運営をすべき 27.7%
- 国の財政支援より抑えた額で、運営をすべき 8.1%
- 国の財政支援の有無にかかわらず公立化はすべきでない 7.4%
- 無回答（わからない） 12.1%
- （※参考 平成22年8月実施アンケート結果 公立が望ましい 69.8%）

詳細は別添のとおり

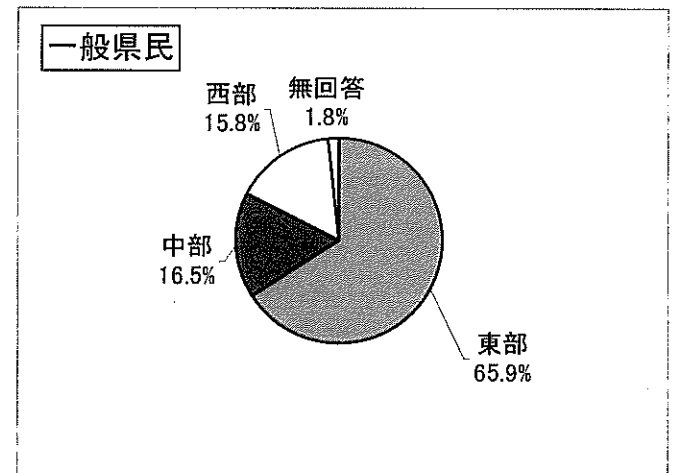
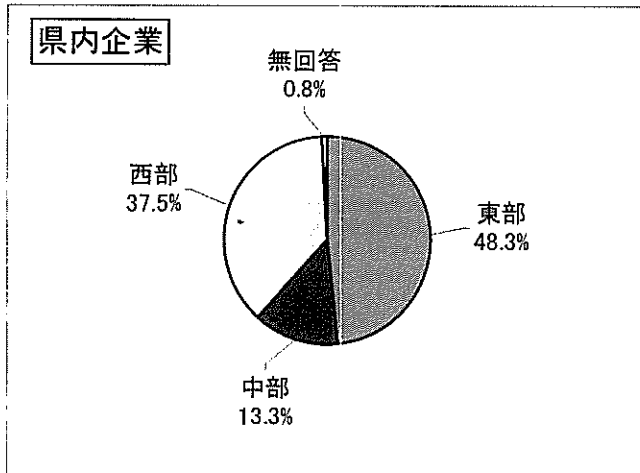
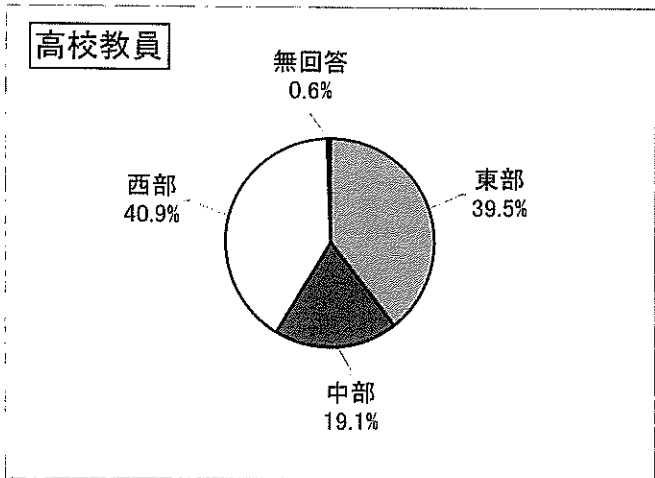
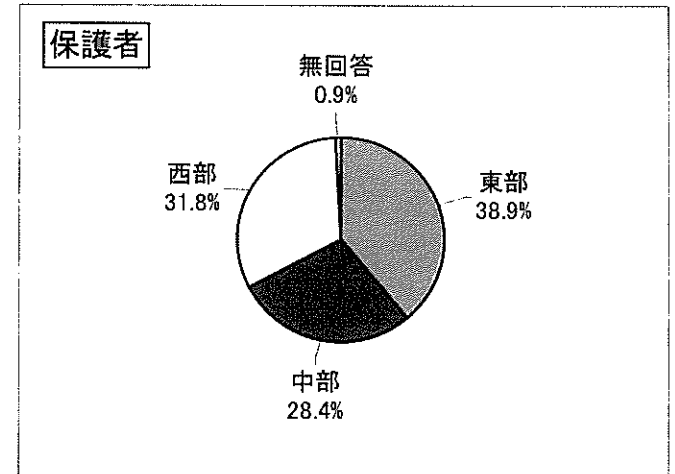
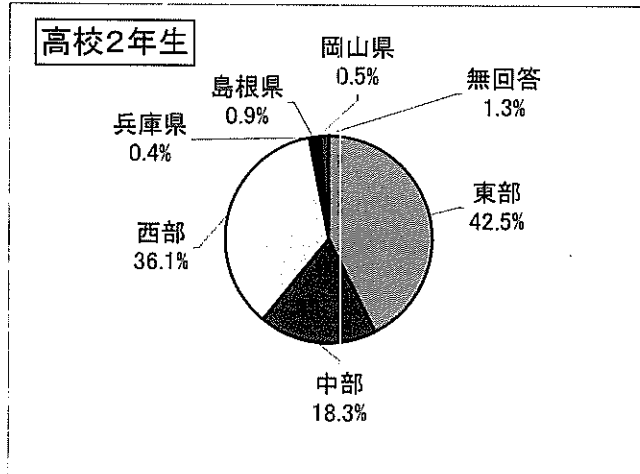
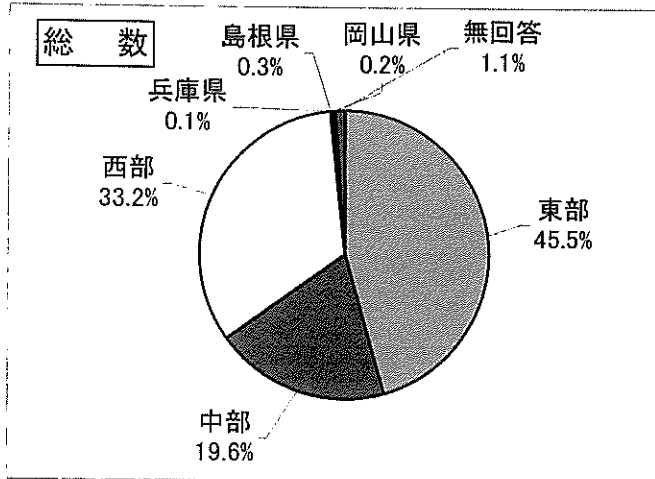
鳥取環境大学の改革に関するアンケート調査結果

区分	回答数	配布数	回答率
高校2年生	1,409	1,705	82.6%
保護者	746	1,705	43.8%
高校教員	1,258	1,479	85.1%
県内企業	240	620	38.7%
一般県民	777		
計	4,430	5,509	

平成 23 年 1 月 19 日

新生公立鳥取環境大学設立協議会

1-1 回答者の居住地

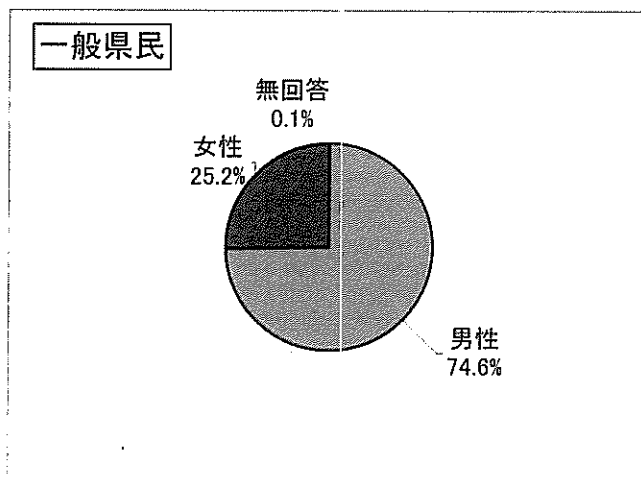
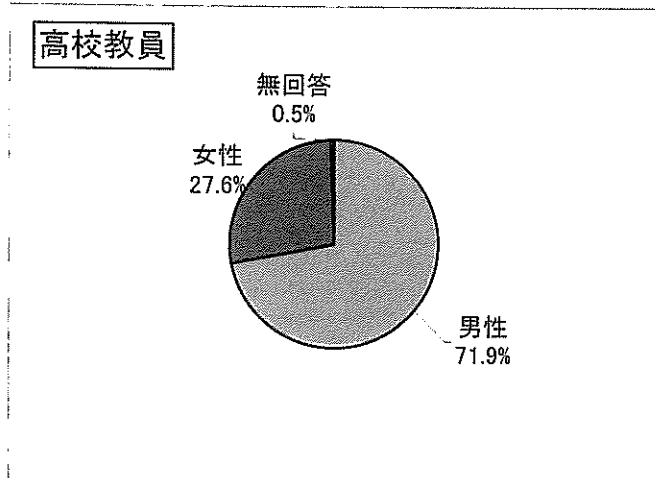
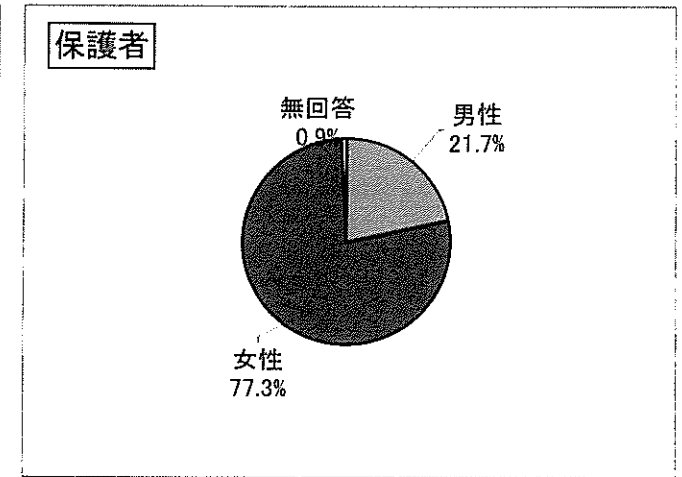
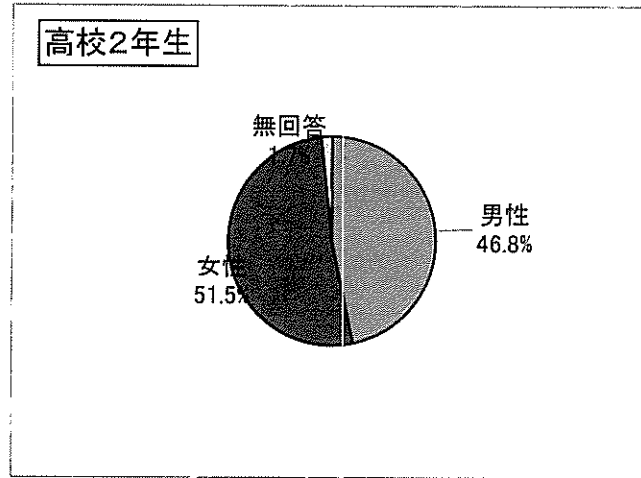
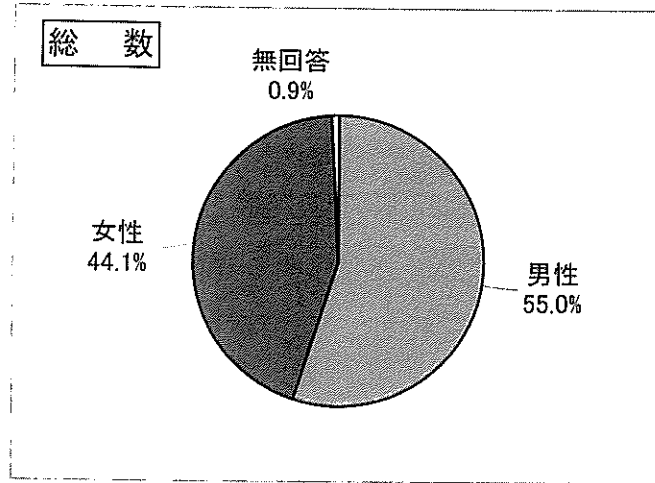


4

区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	人数	割合 (%)
東部	2,014	45.5%	599	42.5%	290	38.9%	497	39.5%	116	48.3%	512	65.9%
中部	870	19.6%	258	18.3%	212	28.4%	240	19.1%	32	13.3%	128	16.5%
西部	1,472	33.2%	508	36.1%	237	31.8%	514	40.9%	90	37.5%	123	15.8%
兵庫県	6	0.1%	6	0.4%								
島根県	12	0.3%	12	0.9%								
岡山県	7	0.2%	7	0.5%								
無回答	49	1.1%	19	1.3%	7	0.9%	7	0.6%	2	0.8%	14	1.8%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】
 あなたは、どちらにお住まいですか。(企業の場合は所在地)

1-2 アンケート回答者の性別

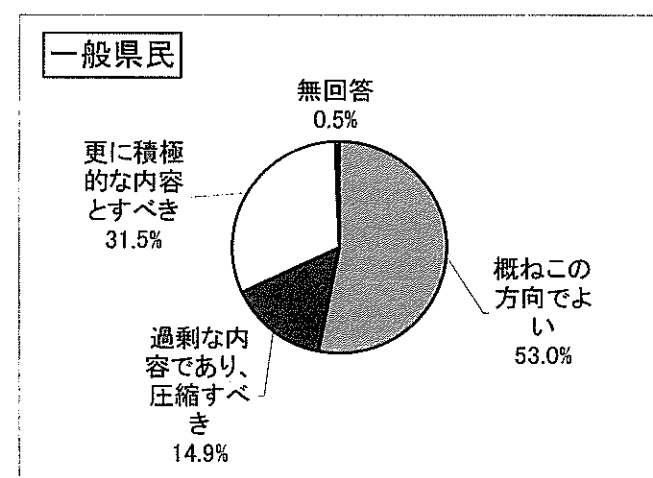
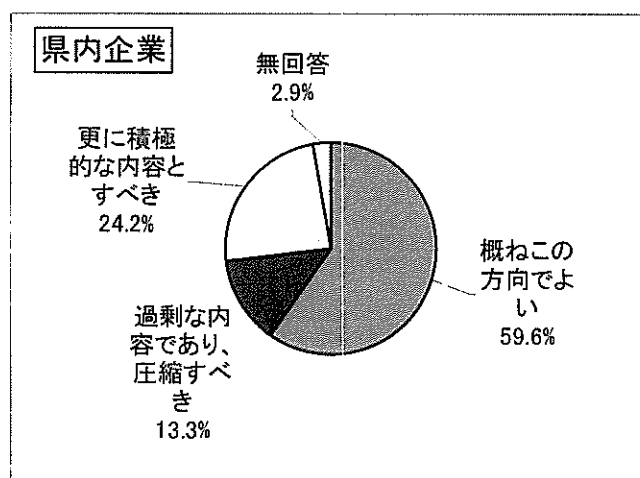
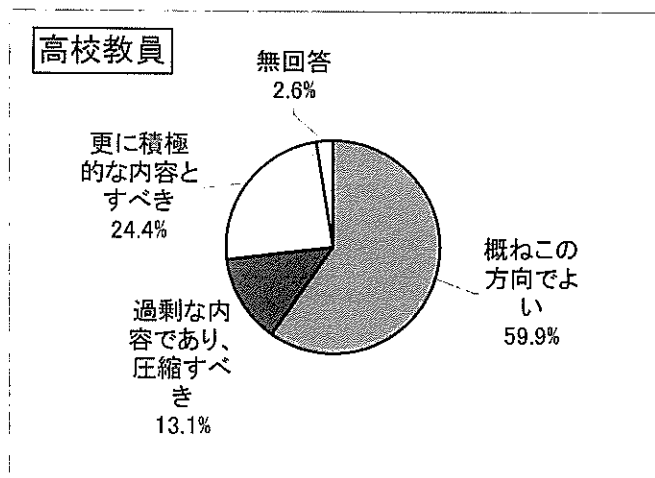
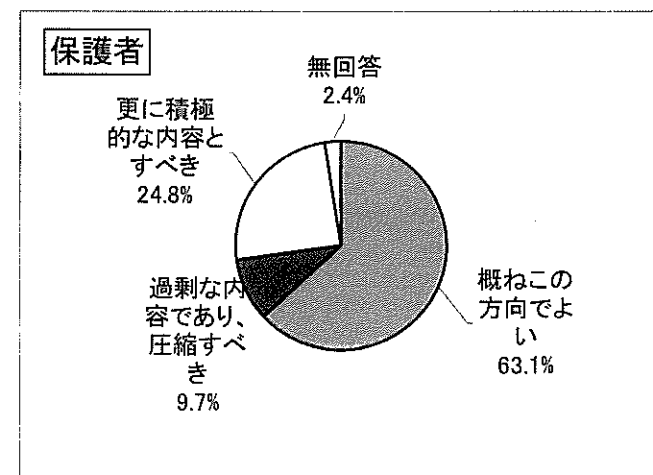
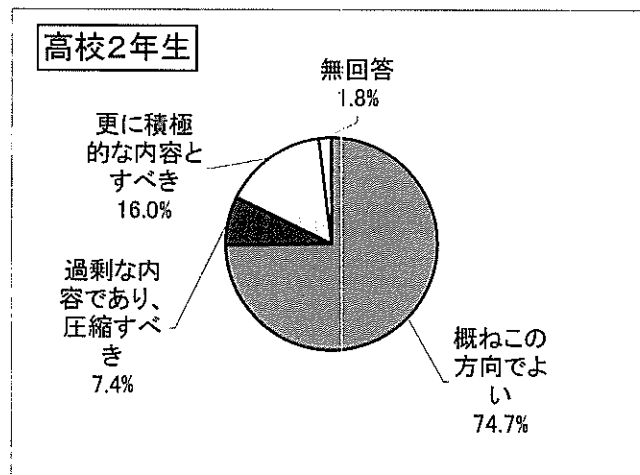
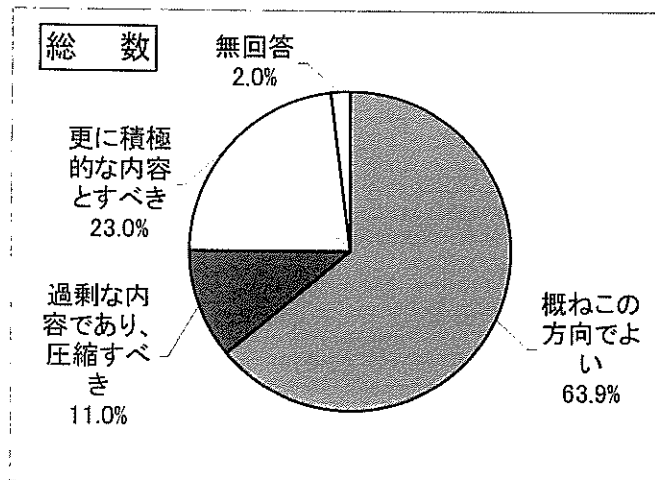


区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
男性	2,306	55.0%	659	46.8%	162	21.7%	905	71.9%	580	74.6%
女性	1,846	44.1%	726	51.5%	577	77.3%	347	27.6%	196	25.2%
無回答	38	0.9%	24	1.7%	7	0.9%	6	0.5%	1	0.1%
計	4,190	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	777	100.0%

【設問内容】

あなたの性別を教えてください。

2 教育内容の改革案について

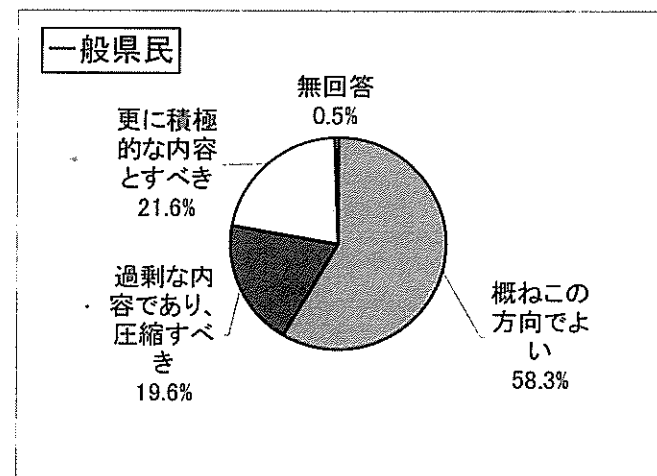
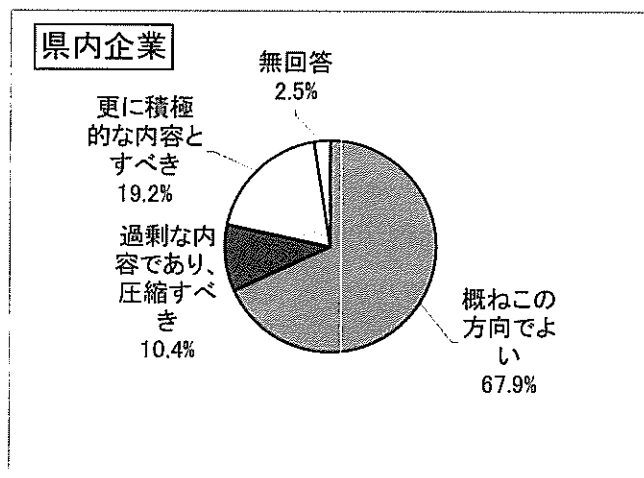
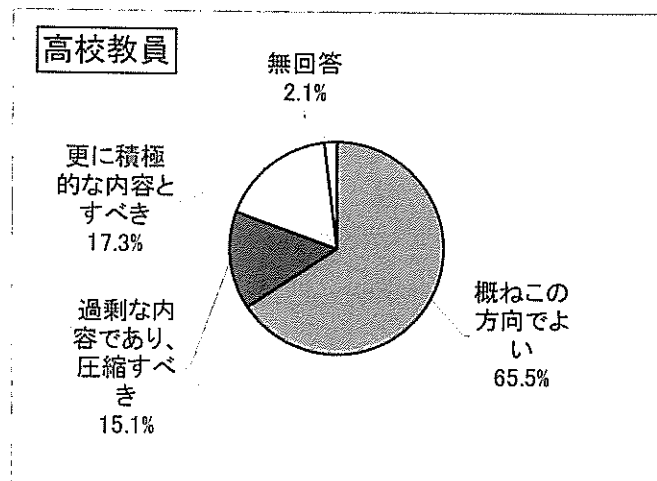
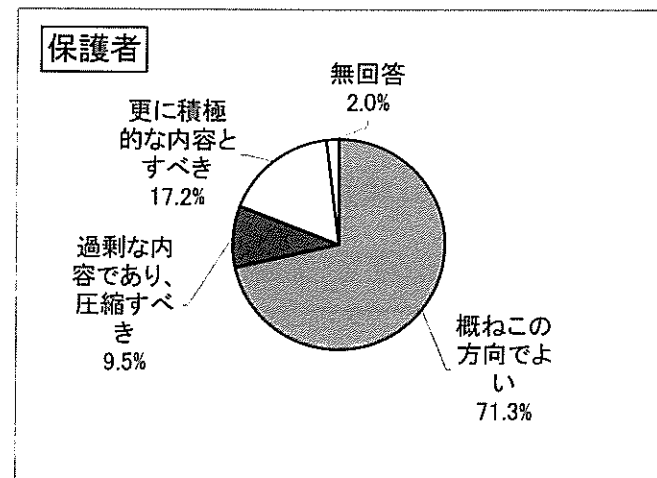
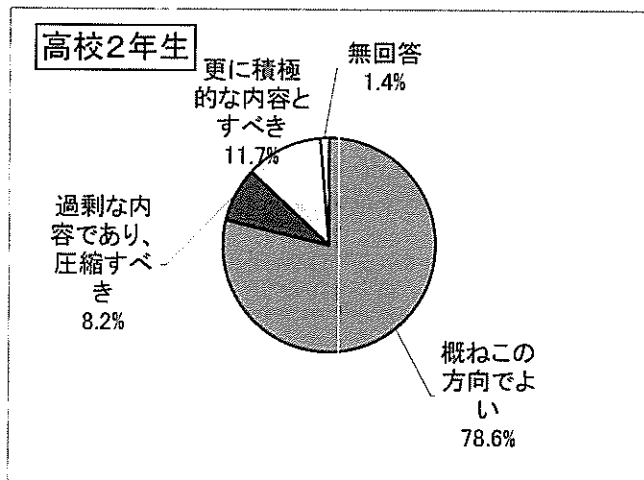
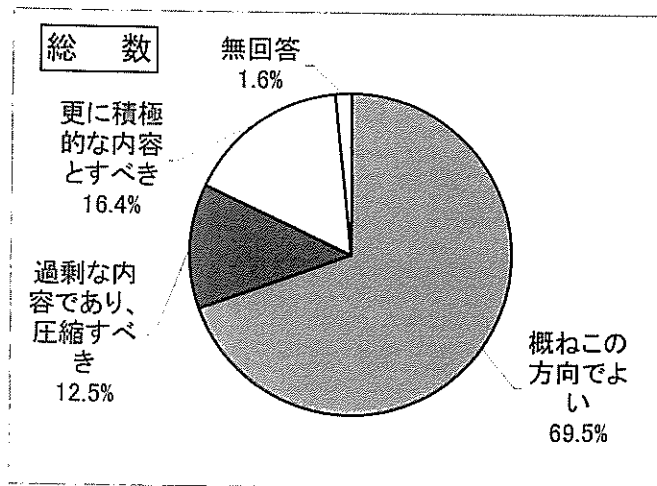


区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
概ねこの方向でよい	2,832	63.9%	1,053	74.7%	471	63.1%	753	59.9%	143	59.6%	412	53.0%
過剰な内容であり、圧縮すべき	489	11.0%	104	7.4%	72	9.7%	165	13.1%	32	13.3%	116	14.9%
更に積極的な内容とすべき	1,021	23.0%	226	16.0%	185	24.8%	307	24.4%	58	24.2%	245	31.5%
無回答	88	2.0%	26	1.8%	18	2.4%	33	2.6%	7	2.9%	4	0.5%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】

教育内容の改革案について、どう考えられますか。

3 国際人材の育成に向けた取組について

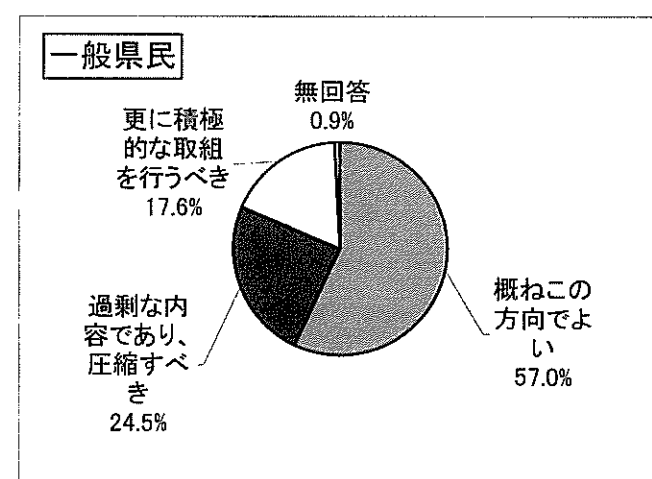
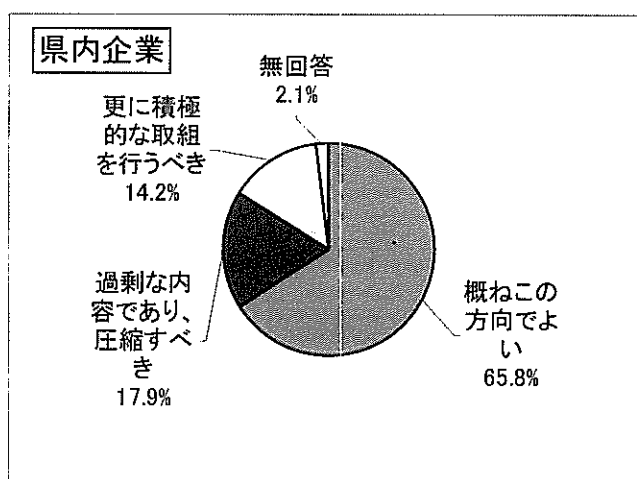
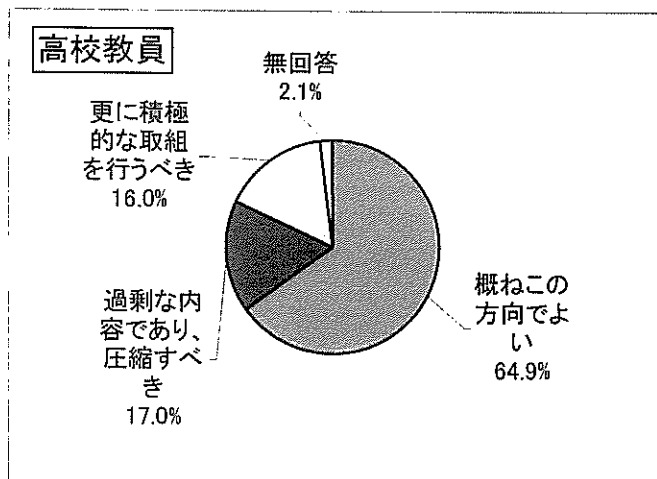
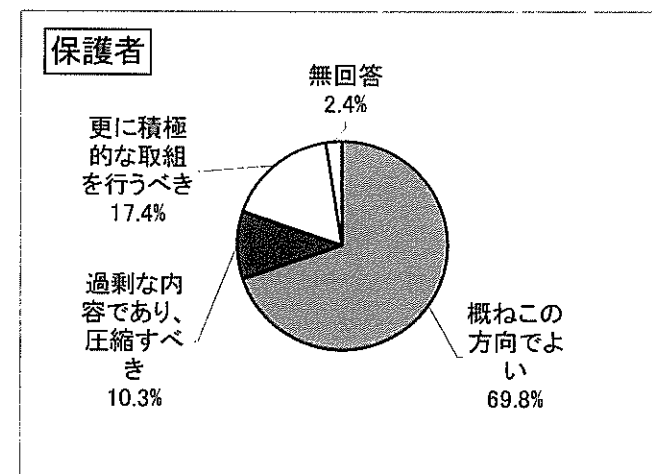
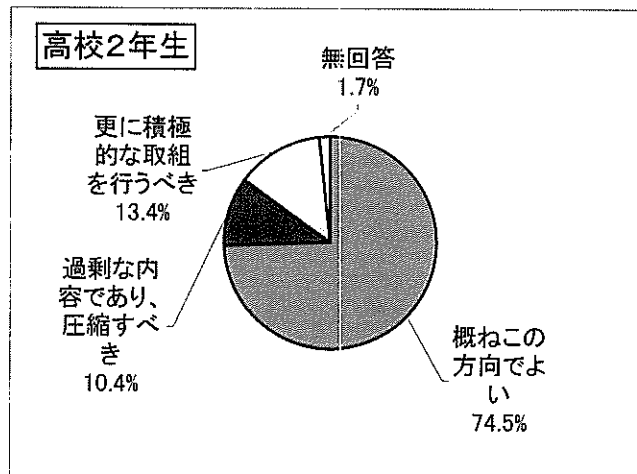
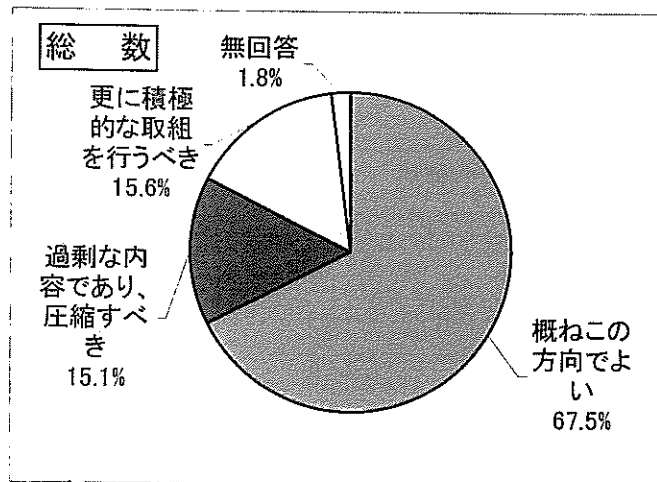


区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
概ねこの方向でよい	3,080	69.5%	1,108	78.6%	532	71.3%	824	65.5%	163	67.9%	453	58.3%
過剰な内容であり、圧縮すべき	554	12.5%	116	8.2%	71	9.5%	190	15.1%	25	10.4%	152	19.6%
更に積極的な内容とすべき	725	16.4%	165	11.7%	128	17.2%	218	17.3%	46	19.2%	168	21.6%
無回答	71	1.6%	20	1.4%	15	2.0%	26	2.1%	6	2.5%	4	0.5%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】

国際人材の育成に関する取組について、どう考えられますか。

4 地域連携の取組について

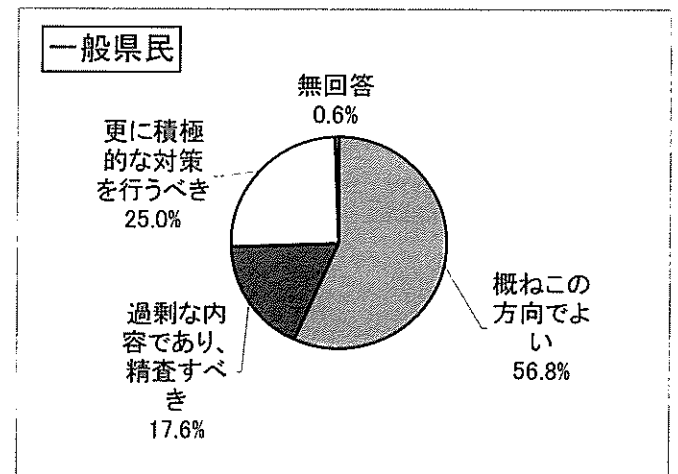
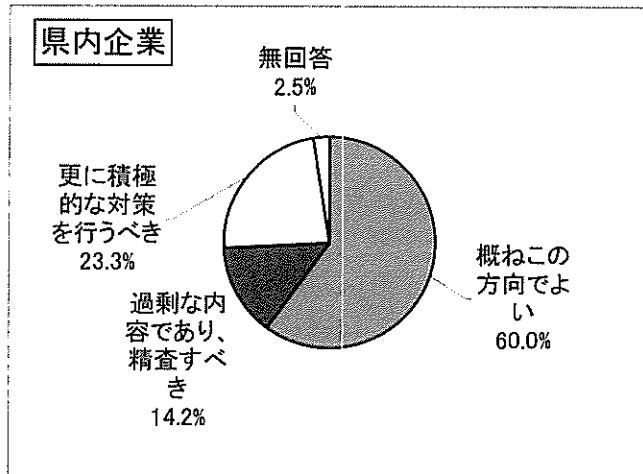
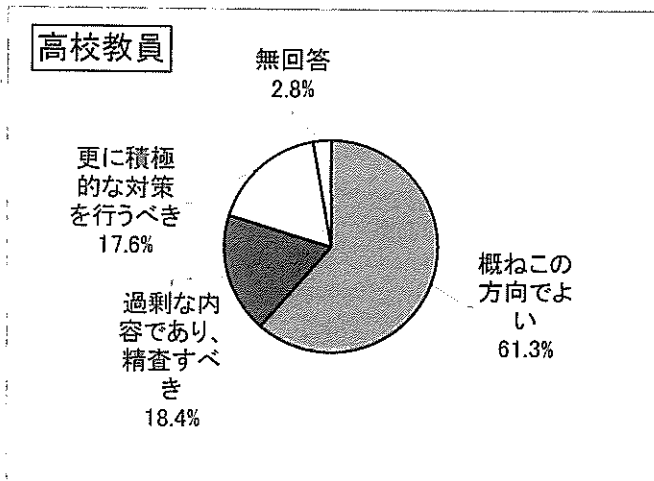
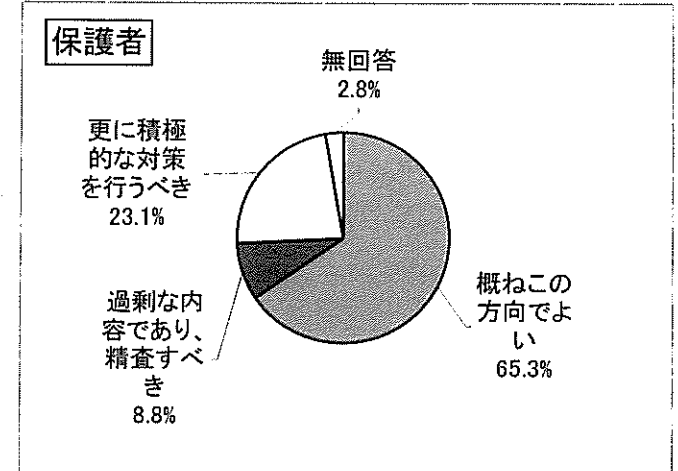
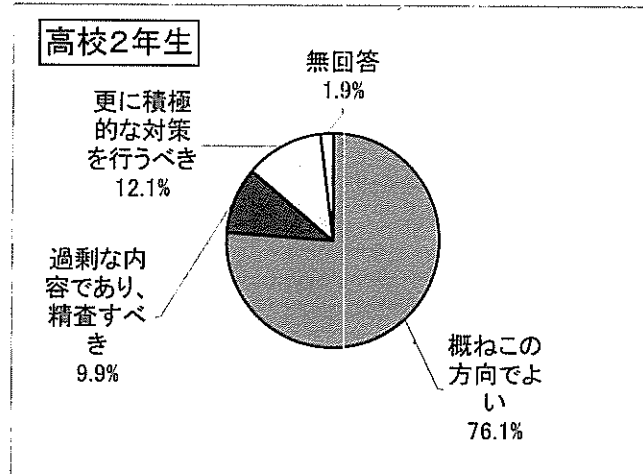
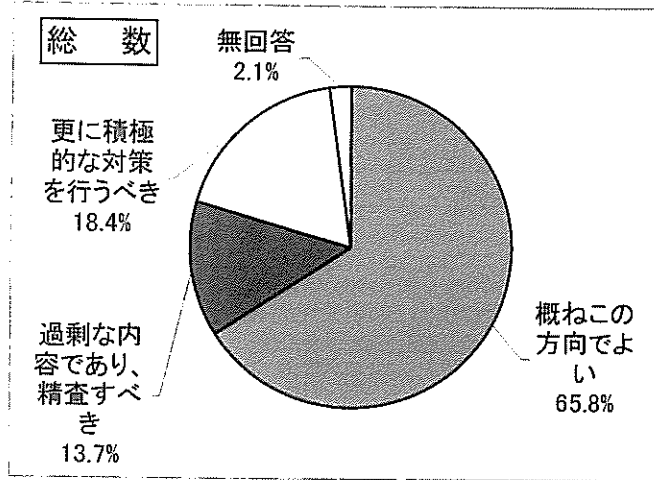


区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
概ねこの方向でよい	2,989	67.5%	1,050	74.5%	521	69.8%	817	64.9%	158	65.8%	443	57.0%
過剰な内容であり、圧縮すべき	670	15.1%	146	10.4%	77	10.3%	214	17.0%	43	17.9%	190	24.5%
更に積極的な取組を行うべき	691	15.6%	189	13.4%	130	17.4%	201	16.0%	34	14.2%	137	17.6%
無回答	80	1.8%	24	1.7%	18	2.4%	26	2.1%	5	2.1%	7	0.9%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】

地域との密着度を高める取組について、どう考えられますか。

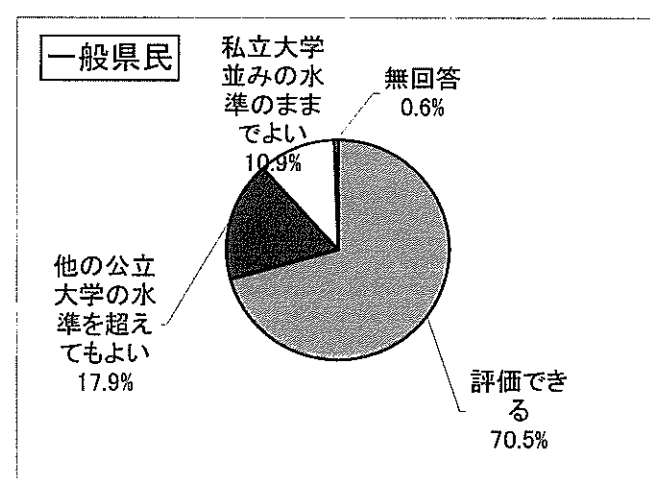
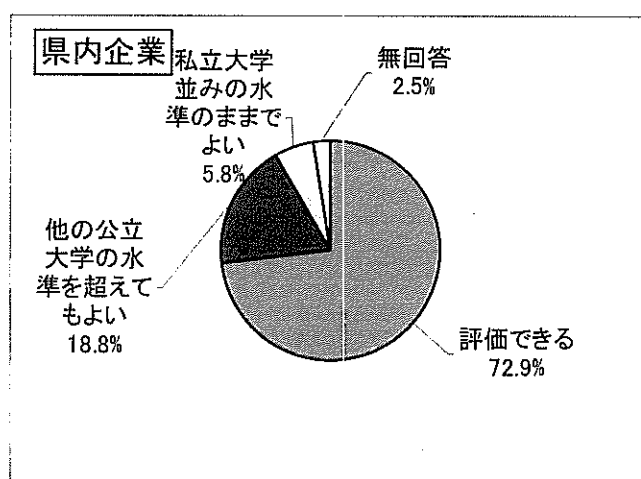
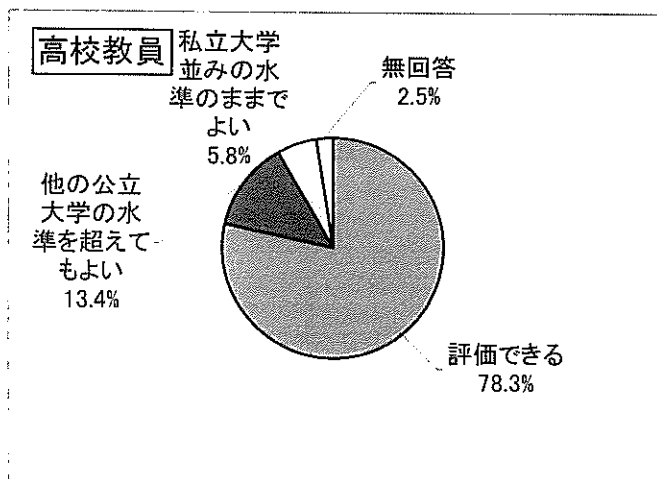
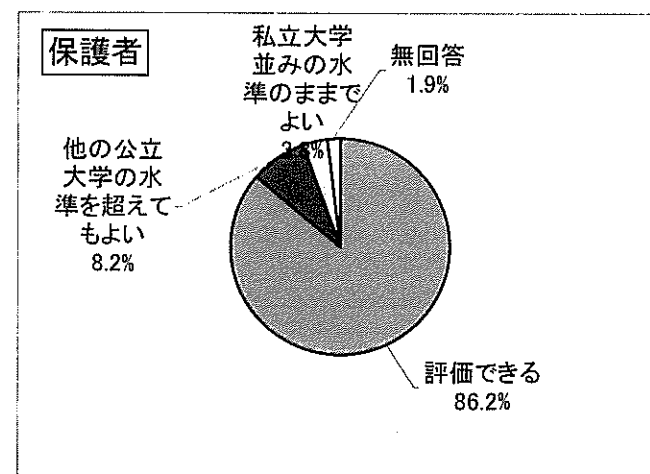
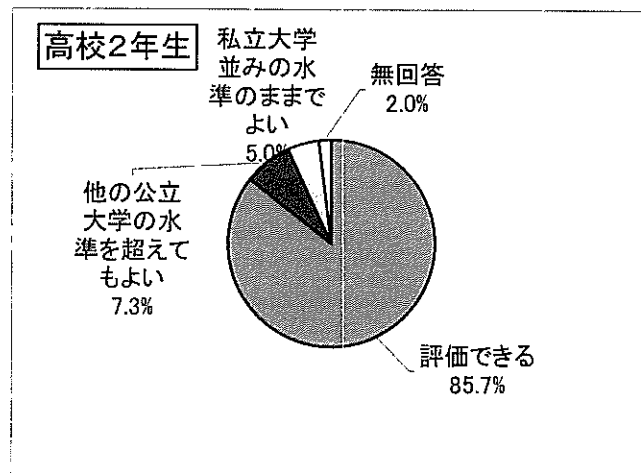
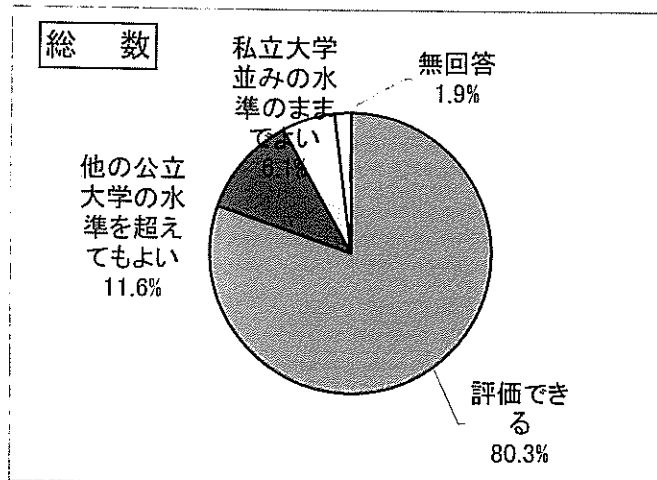
5 組織運営体制の改革について



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
概ねこの方向でよい	2,915	65.8%	1,072	76.1%	487	65.3%	771	61.3%	144	60.0%	441	56.8%
過剰な内容であり、精査すべき	608	13.7%	140	9.9%	66	8.8%	231	18.4%	34	14.2%	137	17.6%
更に積極的な対策を行うべき	813	18.4%	170	12.1%	172	23.1%	221	17.6%	56	23.3%	194	25.0%
無回答	94	2.1%	27	1.9%	21	2.8%	35	2.8%	6	2.5%	5	0.6%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】
組織運営体制の改革について、
どう考えられますか。

6 他の公立大学並みの学費設定について

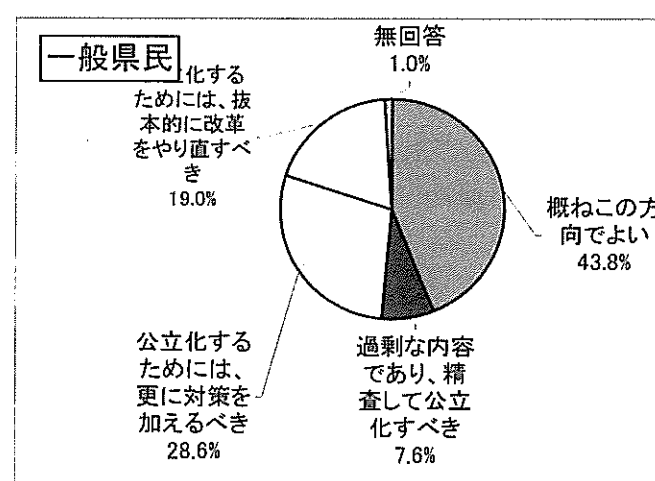
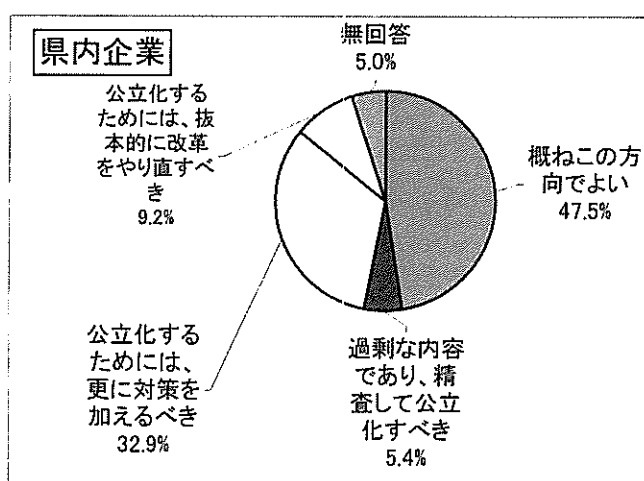
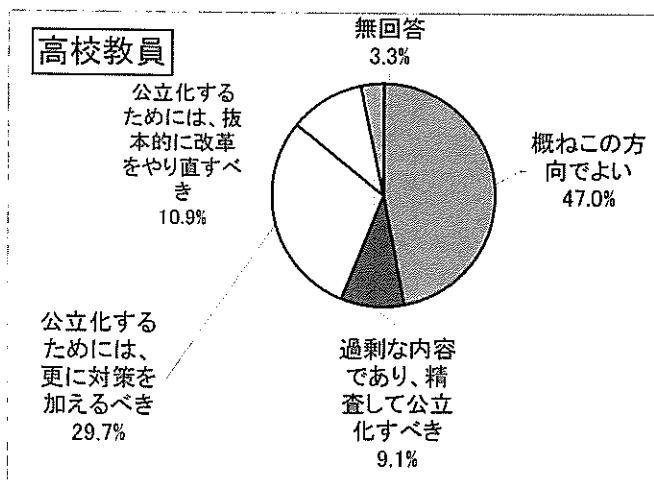
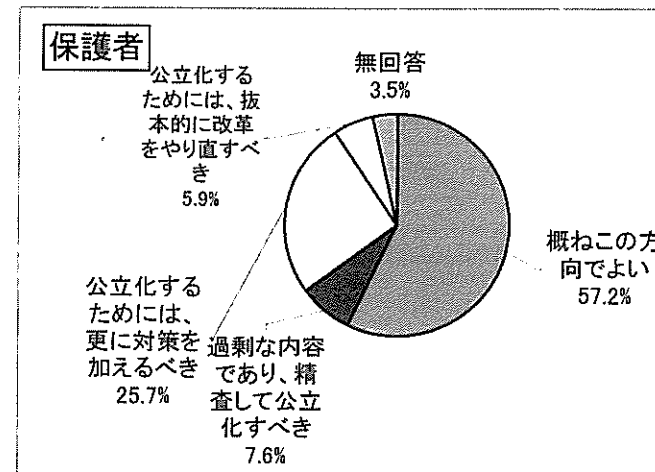
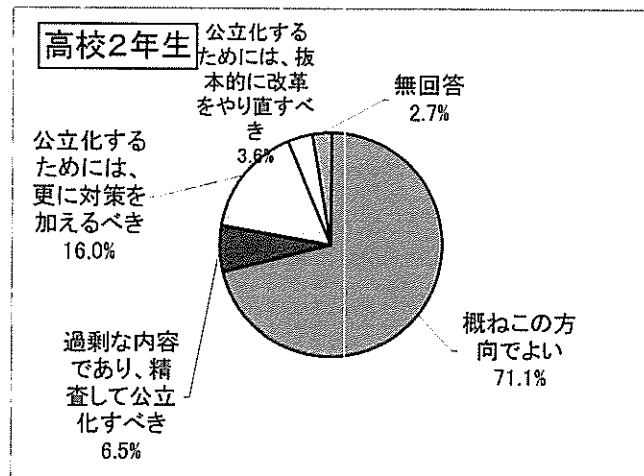
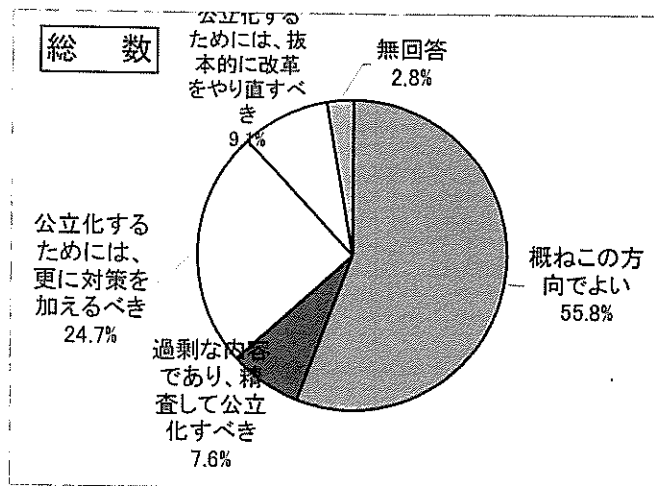


区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
評価できる	3,558	80.3%	1,207	85.7%	643	86.2%	985	78.3%	175	72.9%	548	70.5%
他の公立大学の水準を超えてもよい	516	11.6%	103	7.3%	61	8.2%	168	13.4%	45	18.8%	139	17.9%
私立大学並みの水準のままでよい	271	6.1%	71	5.0%	28	3.8%	73	5.8%	14	5.8%	85	10.9%
無回答	85	1.9%	28	2.0%	14	1.9%	32	2.5%	6	2.5%	5	0.6%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】

他の公立大学並みの54万円程度の学費設定について、どう考えられますか。

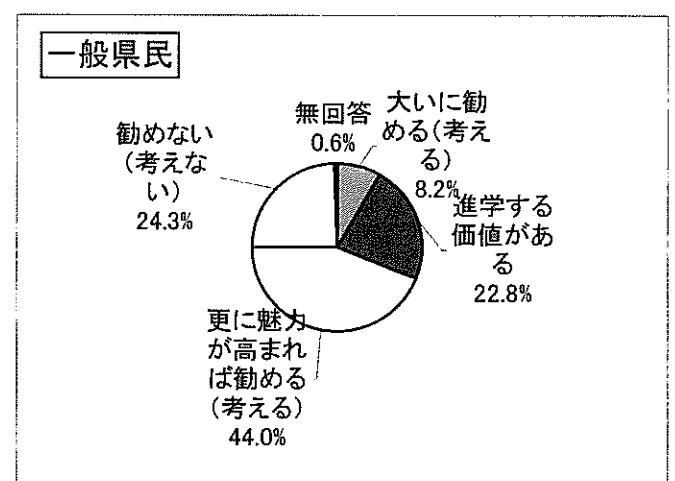
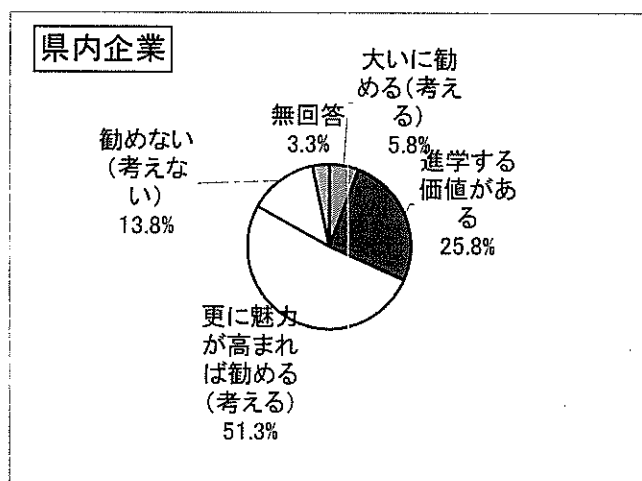
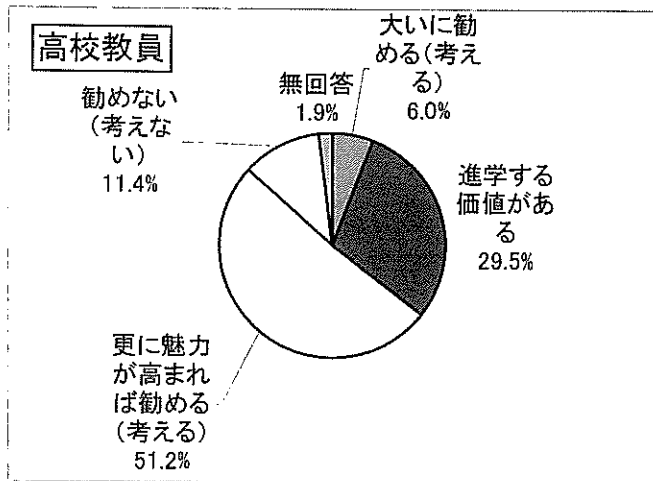
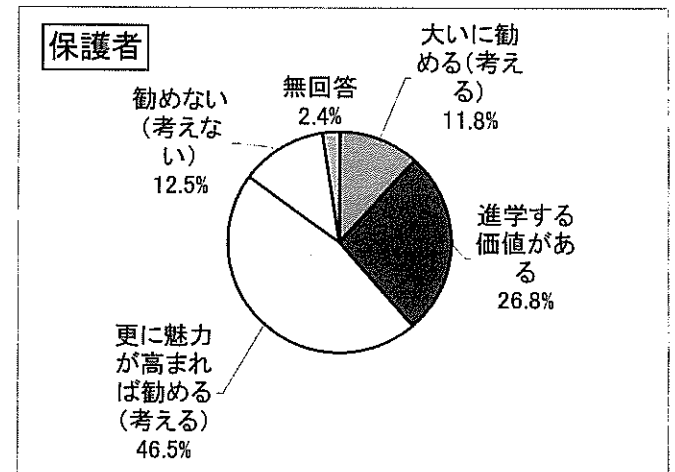
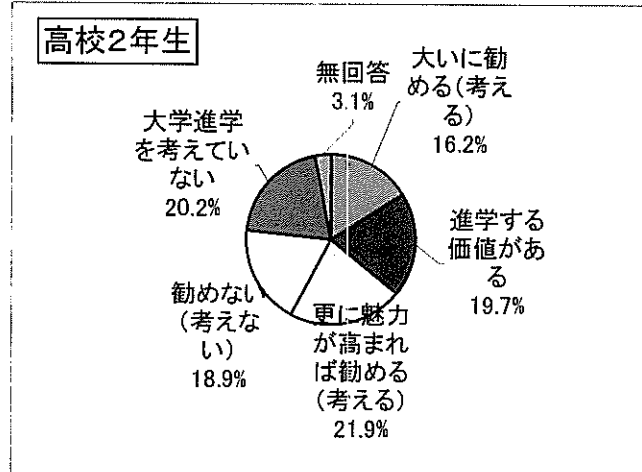
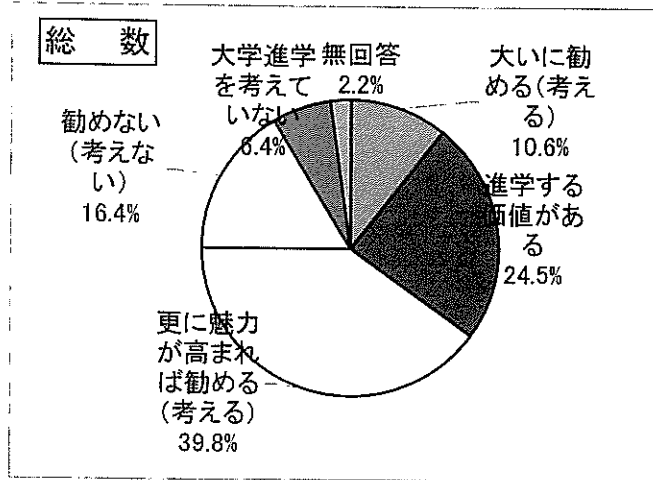
7 総合的な改革案全体について



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
概ねこの方向でよい	2,474	55.8%	1,002	71.1%	427	57.2%	591	47.0%	114	47.5%	340	43.8%
過剰な内容であり、精査して公立化すべき	336	7.6%	92	6.5%	57	7.6%	115	9.1%	13	5.4%	59	7.6%
公立化するためには、更に対策を加えるべき	1,093	24.7%	226	16.0%	192	25.7%	374	29.7%	79	32.9%	222	28.6%
公立化するためには、抜本的に改革をやり直すべき	402	9.1%	51	3.6%	44	5.9%	137	10.9%	22	9.2%	148	19.0%
無回答	125	2.8%	38	2.7%	26	3.5%	41	3.3%	12	5.0%	8	1.0%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】
 総合的な改革案全体について、
 どう考えられますか。

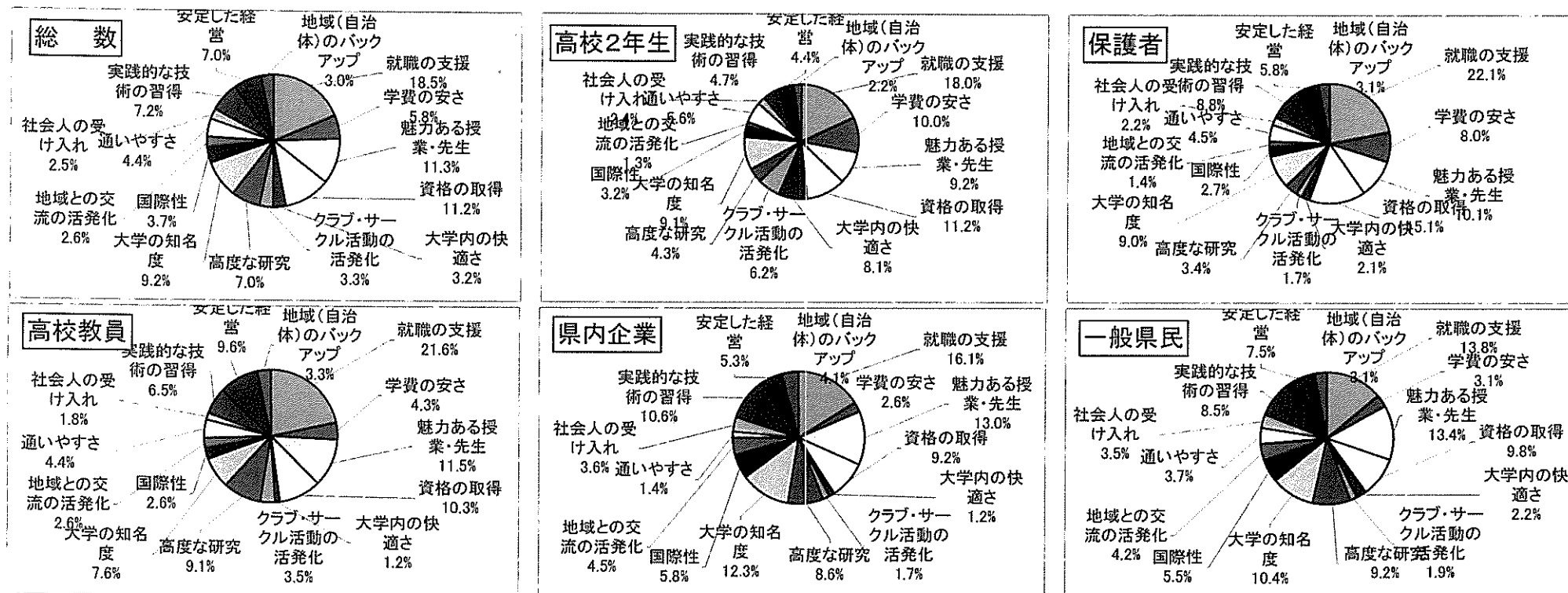
8 身近な受験生へ進学を勧めるか(進学先の候補の一つとなるか)



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
大いに勧める(考える)	469	10.6%	228	16.2%	88	11.8%	75	6.0%	14	5.8%	64	8.2%
進学する価値がある	1,087	24.5%	277	19.7%	200	26.8%	371	29.5%	62	25.8%	177	22.8%
更に魅力が高まれば勧める(考える)	1,765	39.8%	309	21.9%	347	46.5%	644	51.2%	123	51.3%	342	44.0%
勧めない(考えない)	726	16.4%	267	18.9%	93	12.5%	144	11.4%	33	13.8%	189	24.3%
大学進学を考えていない	285	6.4%	285	20.2%								
無回答	98	2.2%	43	3.1%	18	2.4%	24	1.9%	8	3.3%	5	0.6%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】
 改革案を実施し、公立化した鳥取環境大学へ進学を進めますか(進学を考えますか。)

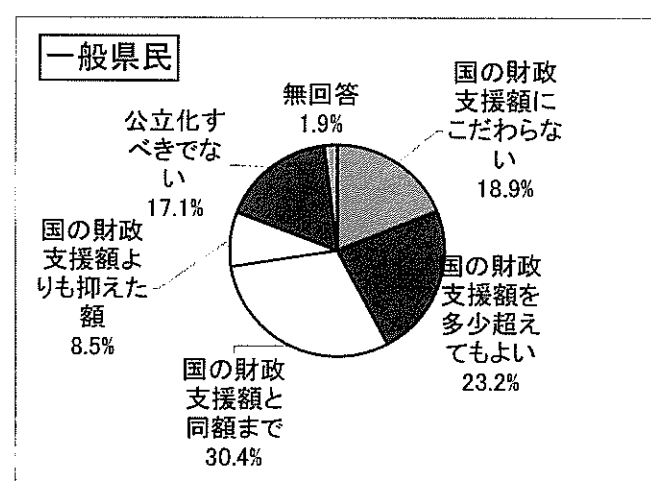
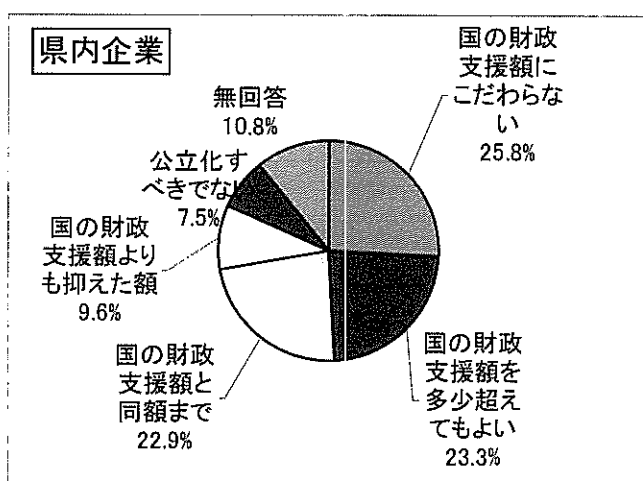
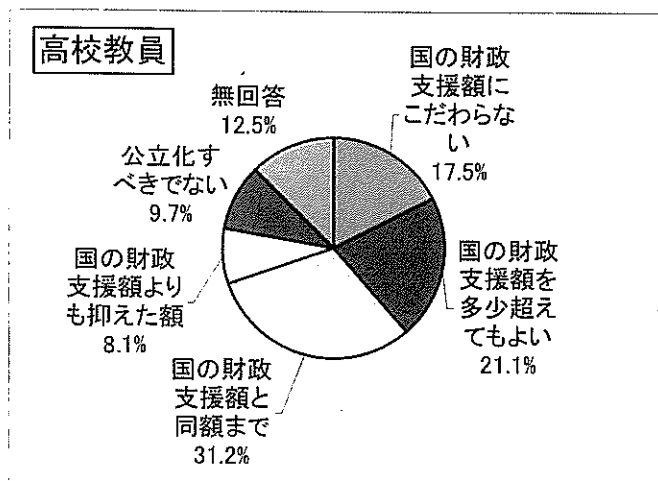
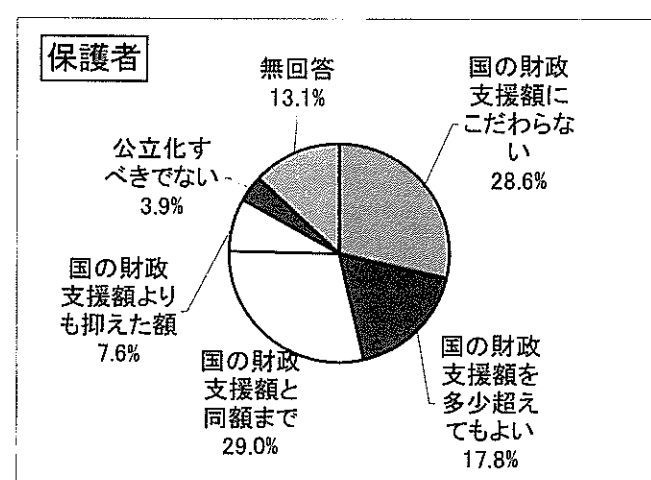
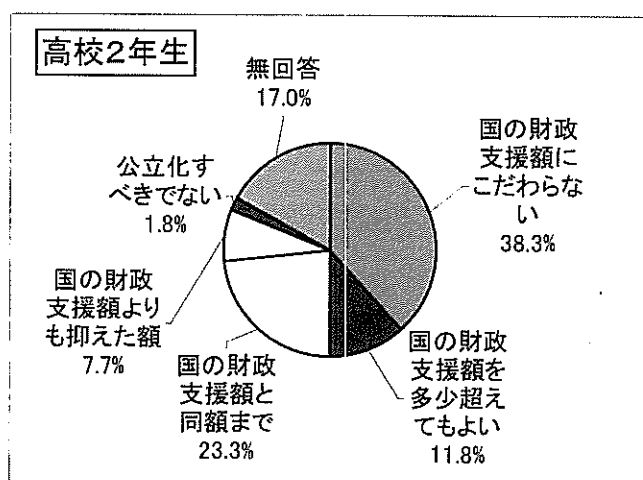
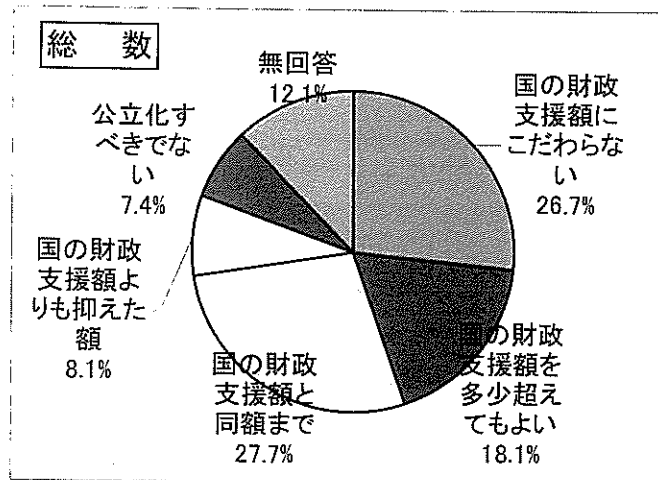
9 強化すべき点(問8で「更に魅力が高まれば考える」又は「進めない」と回答した者)



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
就職の支援	1,759	18.5%	389	18.0%	354	22.1%	594	21.6%	94	16.1%	328	13.8%
学費の安さ	552	5.8%	216	10.0%	129	8.0%	118	4.3%	15	2.6%	74	3.1%
魅力ある授業・先生	1,073	11.3%	199	9.2%	162	10.1%	318	11.5%	76	13.0%	318	13.4%
資格の取得	1,059	11.2%	243	11.2%	243	15.1%	285	10.3%	54	9.2%	234	9.8%
大学内の快適さ	302	3.2%	175	8.1%	33	2.1%	34	1.2%	7	1.2%	53	2.2%
クラブ・サークル活動の活発化	314	3.3%	133	6.2%	28	1.7%	97	3.5%	10	1.7%	46	1.9%
高度な研究	667	7.0%	93	4.3%	54	3.4%	252	9.1%	50	8.6%	218	9.2%
大学の知名度	870	9.2%	197	9.1%	145	9.0%	209	7.6%	72	12.3%	247	10.4%
国際性	351	3.7%	70	3.2%	43	2.7%	73	2.6%	34	5.8%	131	5.5%
地域との交流の活発化	249	2.6%	29	1.3%	22	1.4%	71	2.6%	26	4.5%	101	4.2%
通いやすさ	414	4.4%	122	5.6%	73	4.5%	122	4.4%	8	1.4%	89	3.7%
社会人の受け入れ	241	2.5%	52	2.4%	35	2.2%	49	1.8%	21	3.6%	84	3.5%
実践的な技術の習得	685	7.2%	101	4.7%	142	8.8%	178	6.5%	62	10.6%	202	8.5%
安定した経営	662	7.0%	95	4.4%	93	5.8%	264	9.6%	31	5.3%	179	7.5%
地域(自治体)のバックアップ	286	3.0%	48	2.2%	49	3.1%	92	3.3%	24	4.1%	73	3.1%
計	9,484	100.0%	2,162	100.0%	1,605	100.0%	2,756	100.0%	584	100.0%	2,377	100.0%

【設問内容】
 進学を進めたい(考えたい)大学とするためには、どのような点を強化すべきだと思いますか。

10 国の財政支援を踏まえた大学運営について



区分	総数		高校2年生		保護者		高校教員		県内企業		一般県民	
	人数	割合	人数	割合(%)	人数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	人数	割合(%)
国の財政支援額にこだわらない	1,182	26.7%	540	38.3%	213	28.6%	220	17.5%	62	25.8%	147	18.9%
国の財政支援額を多少超えてもよい	800	18.1%	166	11.8%	133	17.8%	265	21.1%	56	23.3%	180	23.2%
国の財政支援額と同額まで	1,227	27.7%	328	23.3%	216	29.0%	392	31.2%	55	22.9%	236	30.4%
国の財政支援額よりも抑えた額	357	8.1%	109	7.7%	57	7.6%	102	8.1%	23	9.6%	66	8.5%
公立化すべきでない	328	7.4%	26	1.8%	29	3.9%	122	9.7%	18	7.5%	133	17.1%
無回答	536	12.1%	240	17.0%	98	13.1%	157	12.5%	26	10.8%	15	1.9%
計	4,430	100.0%	1,409	100.0%	746	100.0%	1,258	100.0%	240	100.0%	777	100.0%

【設問内容】

財政負担を踏まえながら、大学運営についてどう考えられますか。